

第 33 期 決 算 公 告

札幌市中央区大通西3丁目11番地
株式会社札幌北洋カード
代表取締役社長 豊岡 孝章

平成28年6月28日

貸 借 対 照 表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	14,158,574	流 動 負 債	11,717,600
現金・預金	1,150,798	加盟店未払金	4,348,680
会員未収金	2,660,258	未払金	90,999
求償権	475,874	当座借越	6,903,050
未収金	7,979,570	未払費用	66,454
貸付金	222,922	預り金	1,648
貯蔵品	6,302	会員前受金	2,351
未収収益	132,260	その他流動負債	83,905
前払費用	2,944	保証債務損失引当金	123,171
その他流動資産	1,958,912	販売促進引当金	11,689
貸倒引当金	△ 701,517	賞与引当金	26,038
繰延税金資産	270,247	未払法人税等	59,611
固 定 資 産	434,155	固 定 負 債	268,550
有形固定資産	20,178	過剰利息返還請求引当金	158,131
建物	10,300	退職給付引当金	19,976
什器備品	9,877	繰延税金負債	90,443
無形固定資産	5,357	負 債 合 計	11,986,151
電話加入権	2,930	純 資 産 の 部	
ソフトウェア一費	2,427	株 主 資 本	2,372,040
投資その他資産	408,619	資本金	100,000
投資有価証券	386,750	資本剰余金	47,861
会員権	1,000	資本準備金	27,500
保証権利金	18,990	その他資本剰余金	20,361
長期前払費用	1,878	利益剰余金	2,224,178
		利益準備金	32,500
		その他利益剰余金	2,191,678
		別途積立金	580,000
		繰越利益剰余金	1,611,678
		評価・換算差額等	234,538
		その他有価証券評価差額金	234,538
		純 資 産 合 計	2,606,578
資 産 合 計	14,592,730	負債および純資産合計	14,592,730

個別注記表

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- a. 時価のあるもの
決算日の市場価格等(決算日前1ヵ月の市場価格の平均)に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定しています。)
- b. 時価のないもの
移動平均法による原価法
- c. 評価差額
全部純資産直入法により処理しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- a. 有形固定資産…法人税法の規定による定率法を採用しております。
- b. 無形固定資産…法人税法の規定による定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

- a. 貸倒引当金…債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。
- b. 賞与引当金…従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。
- c. 保証債務損失引当金…保証債務の貸し倒れによる損失に備えるため、種類別に債権の回収可能性を勘案して計上しております。
- d. 退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しております。
- e. 販売促進引当金…ポイント交換支払に備えるため、支払見込額をブランドごとに算出計上しております。
- f. 過剰利息返還請求引当金…弁護士介入等による過剰利息返還請求に備えるため、過去返還請求があった金額累計、期間等を勘案し見込額を計上しております。

(4) その他の計算書類の作成のための基本となる重要事項

- a. リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- b. 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

繰越利益剰余金1,611,678千円、うち当期純利益は117,599千円となっております。